

令和元年7月1日

健康管理委員 様

東京金属事業健康保険組合  
健康管理部

## 概況レポート（第2号）

### 「健診を受けて安心!健康チェック」 東京金属事業健康保険組合

#### I. トピックス

1. 厚生労働省の「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」は、国民誰もがより長く活躍できる社会の実現に向けた改革案、「健康寿命延伸プラン」、「医療・福祉サービス改革プラン」、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」を公表した。（5月29日）

概要は「別添資料」図表1を参照。

※「2040年問題」は、団塊ジュニア世代が、65歳に到達し始め、高齢化がピークを迎える時期。

- ・団塊世代は、正社員が多く、持ち家率も高く、それなりに老後資産を蓄積している。
- ・団塊ジュニア世代は、非正規労働者が多く、老後の準備が不十分。

- (1) 「健康寿命延伸プラン」は、2040年までに健康寿命を男女とも3年以上延伸（男性：75.14歳以上、女性：77.79歳以上、2016年比）を目標として、

- ① 次世代を含めた全ての人の健やかな生活習慣を形成
  - ② 疾病予防、重症化予防
  - ③ 介護予防、フレイル対策、認知症予防
- を中心に取り組む。

（※フレイルは、健康な状態から要介護状態になるまでの中間的段階）

詳細は「別添資料」図表2、図表3を参照。

(2) 「医療・福祉サービス改革プラン」は、2040年時点において、医療・福祉分野の単位時間サービス提供量（サービス提供量÷従事者の労働時間で算出される指標）について5%（医師は7%）以上の改善を目標として、

- ① ロボット・AI・ICT等の実用化推進、データヘルス改革
  - ② タスクシフティング、シニア人材の活用推進
  - ③ 組織マネジメント改革
  - ④ 経営の大規模化・協働化
- に取り組む。

（※タスクシフティングは、医行為の一部を医師から他の職種への委譲）

詳細は「別添資料」図表4、図表5を参照。

## 2. 未来投資会議（議長：安倍晋三 6月3日於首相官邸）

成長戦略実行計画案等を議論、「全世代型社会保障への改革」については、70歳までの就業機会確保、疾病・介護の予防への対応の方向性を示している。

- ・70歳までの就業機会確保は、高齢者の希望・特性に応じて多様な選択肢を整備し、2020年の通常国会に第1段階の法律案（努力規定）提出。
- ・年金制度は、年金受給開始時期の選択範囲の拡大、在職老齢年金制度の見直し。
- ・疾病・介護の予防は、健保組合の後期高齢者支援金の加減算制度の加減算の幅は、2020年度に両側に最大10%までに引き上げる。

等の、現行の見直し方針による強化を進める。

詳細は「別添資料」図表6、図表7、図表8、図表9を参照。

## II. 事業の概況等

### 1. 算定基礎届説明会・事務担当者講習会

算定基礎届説明会・事務担当者講習会を6月10日（月）から6月12日（水）までの3日間、健保会館および多摩支部事務所において開催し、187事業所205名の方にご参加いただきました。

業務部の担当職員から、報酬、定時決定（算定基礎届）及び随時改定（月額変更届）などの手続きをはじめ、療養費、傷病手当金などの現金給付や付加給付の概要、請求手続きなどについて、制度改正事項も含め説明しました。

また、当健保組合の保健指導スタッフである管理栄養士により、「今日から実践・減塩生活！～選び方・食べ方・調理の工夫～」の健康セミナーも併せて実施しました。

### 2. 算定基礎届の受付とその処理

算定基礎届の受付処理を6月28日（金）から7月12日（金）までの日程で実施しています。

原則として、各加入事業所の担当者においでいただき、届書の内容確認及び受付処理を行います。

その後、受け付けた書類に基づき、概ね8月の後半までの間に標準報酬の定時決定のための処理を行い、9月1日から新たな標準報酬月額が適用されることとなります。

資格取得届等の通常の届書処理も並行して処理する必要がありますので、パンチ業務の外部委託や超過勤務による対応などにより、処理を行うこととしています。

業務部において、年間で一番大きな事務・事業となります。

### 3. 健康経営・健康企業宣言について

健康企業宣言につきましては、6月27日現在で46事業所にご参加いただいております、既に30社が健康優良企業（銀）の認定を取得されています。

さらに、このうちの6社が、次の段階である（金）の認定に向けSTEP2の宣言をされ、3社が健康優良企業（金）の認定を取得されています。

また、健康優良企業（銀）の認定を取得された事業所へは、健康企業宣言運動を通じた被保険者（従業員）に対する健康管理・健康づくりの積極的な取組に対し、健康保険組合理事長から感謝状を贈呈し、その模様を組合機関紙「健康と生活」に掲載しています。

健康優良企業（金また銀）に認定されたことは、当該事業所が、ホワイト企業であるとの証となり、イメージアップに繋がり、職員採用等のプラス効果と共に業績向上の助力となるものと考えています。

また、金属健保にとっても、職員の皆様の健康意識が向上して、健康寿命の延伸の一助となるものと考えています。

健康優良企業（銀）の認定の取得は、職員の皆様の各種健診の受診率が 80%以上の事業所であれば、あと少しの努力で容易に可能です。

金属健保は、健康優良企業（銀）の認定の取得まで積極的にサポートしています。

健康優良企業（銀）の認定の取得に関する問い合わせは、コラボヘルス課 (03-3866-2869) へご照会ください。

#### 4. 歩こう大会について

当健保組合主催の「歩こう大会（潮干狩り）」を、5月19日（日）に木更津海岸中の島公園で開催いたしました。当日は、大人 866 名、子供 372 名の合計 1,238 名のご参加をいただきました。

この歩こう大会は、当健康保険組合の主要行事であり、多くの加入員に直に接する機会であるので、健康管理部を中心に組合全体として取り組みました。

当日は、特段のトラブルなどもなくスムーズに実施されました。また、天候に恵まれたため、各参加者は、あさりなどを沢山取って、お土産にするなど、参加者から好評を博しました。

また、今年度につきましても、全国の加入員の皆様に参加していただけるように「Web ウォークラリー」として、9月から11月までの3か月間で開催することとして準備しています。

皆様におかれましても、事業所を挙げての参加の検討をご指示いただくなど、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### 5. 事業所対抗軟式野球大会（一部）について

第 64 回目となる、当健保組合主催の事業所対抗軟式野球大会ですが、その第一部を、予定通り、5月12日（日）から6月2日（日）までの毎日曜日、4日間で開催いたしました。

参加 16 チームで成績は次のとおりでした。

- 優勝 株式会社ベスト
- 準優勝 美和ロック株式会社
- 第三位 入船鋼材株式会社 株式会社東京鋳兼

優勝されました株式会社ベストにおかれては、4連覇となります。

本年 10 月には、当健保組合の代表として、東京総合健保野球大会（日刊スポーツ杯争奪）に参加していただくことになっています。

なお、二部につきましては、23 チームの参加予定で、9月1日（日）から毎日曜日に、一部同様当健保組合の秋川球場（東京都あきるの市）において開催することとしています。

## **6. 健康管理事業推進委員会について**

去る令和元年6月20日(木)当健保会館7階会議室にて、第19回健康管理事業推進委員会が開催されました。本委員会では、平成30年度の特定健診実施状況などの健康管理事業、重症化予防をはじめとした第2期データヘルス計画に基づく事業、健康企業宣言などのコラボヘルス推進の報告及び、特定保健指導実施率の向上を目的とした新たな事業の取組みなど今後実施する事業についての提案、これら審議を行い、了承されました。

(以上)